

「公立高等学校配置計画案（平成29年度～31年度）」の見直しを求める決議

北海道教育委員会は、6月7日付けで「公立高等学校配置計画案（平成29年度～31年度）」を公表し、空知南学区については、平成31年度に岩見沢西高等学校において1学年4学級を3学級に削減するとしている。

北海道教育委員会は、平成18年に策定した「新たな高校教育に関する指針」において、全日制課程については、一定規模の生徒及び教職員の集団を維持し、活力ある教育活動を展開するために、「1学年4～8学級」を望ましい学校規模とし、「1学年3学級以下」の高校については、原則再編整備の対象としているところである。

このたびの計画案は、空知南学区内の小規模校については、再編や学級減の対象にしていないが、「指針」の趣旨に反して適正規模である岩見沢西高等学校の学級を減じ、学区内の子どもたちの進路選択の幅を狭めるもので到底受認できない。

岩見沢西高等学校は、生徒が興味・関心や進路希望等に応じて必要な科目を選択して学べる、空知南学区唯一の単位制の進学校である。

学級を削減するとなれば、教員の定数も削減され、主要5科目の授業形態に影響が出て学力が低下するとともに、部活動の停滞も避けられないなど、生徒たちが被る不利益も計り知れない。

北海道教育委員会は、多様な学習ニーズに対応した幅広い教育課程の編成、実施を担保していくために、今回示された「公立高等学校配置計画案（平成29年度～31年度）」を見直すことを強く求めるものである。

以上のとおり決議する。

平成28年 6 月24日

岩見沢市議会